

# 宮津市由良地域調査

宮下 遥

2016 年度、歴史地理学ゼミでは、宮津市由良地域において現地調査と聞き取り調査をおこなった。これは地域貢献型特別研究 (ACTR) の事業である「丹後の海」の歴史・文化に関する総合的研究」(代表：藤本仁文)の一環としての調査である。

## 1. 調査概要

第 1 回：2016 年 9 月 26 日

調査者：上杉和央 (教員)

島本多敬 (日本学術振興会特別研究員・博士後期課程 2 回生)

宮下遥 (博士前期課程 2 回生)

上中理帆・壁谷奈央・喜馬佳也乃・曾我部真衣 (4 回生)

作田貴啓・竹内祥一郎・西彬成 (3 回生)

第 2 回：2017 年 1 月 16 日・17 日

調査者：上杉和央 (教員)

小室智子 (舞鶴市郷土資料館)

島本多敬 (日本学術振興会特別研究員・博士後期課程 2 回生)

宮下遥 (博士前期課程 2 回生)

上中理帆・壁谷奈央・喜馬佳也乃・曾我部真衣 (4 回生)

竹内祥一郎・西彬成 (3 回生)

## 2. 調査内容

第 1 回では、島本・喜馬・曾我部・竹内・西が由良地域内の道路を踏査し、上杉・宮下・上中・壁谷・作田が由良神社・奈具神社内の石造物を調査した。島本班は、丹後由良駅前通りより西側の道路すべてを踏査し、標高・地目・景観を記録した (写真 1)。上杉班は、両神社内の石造物すべての緯度・経度と、刻銘を記録し、写真撮影をおこなった (写真 2)。

第 2 回では、引き続き道路踏査をおこなう予定であったが、豪雪のため中止せざるを得なくなった (写真 3)。そのため、16 日午前は由良の歴史をさぐる会会員の加藤正一氏宅にて、会長の飯沢登志朗氏・加藤氏への聞き取りをする班 (宮下・竹内・西) と、岩穴稲荷神社内の石造物の緯度・経度、刻銘調査、写真撮影をする班 (小室・島本・上中・壁谷・喜馬・曾我部) に分かれた。全員が一度合流したのち、由良郷土館にて民具・製塩関係遺物について飯沢氏から説明を受けた。午後からは、川崎利晴氏に聞き取りをする班 (上杉・島本・曾我部・竹内) と、

玉司稲荷神社の石造物すべての緯度・経度、刻銘調査、写真撮影をする班(小室・宮下・上中・壁谷・喜馬・西)に分かれて調査をおこなった。15時ごろから、調査者全員で千軒長者の館にて由良の歴史をさぐる会会員7名への聞き取り調査をした(写真4)。

17日午前は、上杉・壁谷が岩穴稲荷神社の補足調査を(写真5)、その他全員で照国稲荷神社の石造物すべての緯度経度・刻銘調査、写真撮影をおこなった(写真6)。のちに上杉・壁谷も合流し、水無月神社・児童公園内の石造物すべての緯度・経度、刻銘調査、写真撮影をおこなった。



写真1 道路踏査の様子



写真2 緯度経度記録の様子



写真3 雪かきの様子



写真4 聞き取りの様子



写真5 石碑撮影の様子



写真6 刻銘調査の様子